

治水の取組を説明しよう

理科

治水の取組

家庭や地域

# 乙島っ子

令和4年度 NO. 21

令和4年11月24日 倉敷市立乙島小学校

流水の働きを調べよう

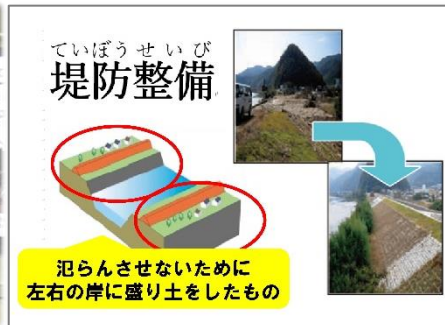
## 理科の実感 ↔ 総合的な学習の時間

国語科、算数科などの「教科」に対し、学活や総合などは、「領域」と呼ばれます。「環境」や「福祉」などを扱う総合的な学習の時間は、「生き方」に直結しますが、理科などは、児童から「生活に役立つ」とわれていないのが現状です。そこで、今回は、「総合」と「理科」の結び付きを図ることで「理科の有用性」に気付かせた5年生の実践を紹介します。



総合：国土交通省…

岡山河川事務所の方より



ていぼうせいび  
堤防整備

氾らんさせないために  
左右の岸に盛り土をしたもの



理科「流水の働き」

まず、児童は、総合の時間で、国土交通省の方が堤防整備やダム建設などの「治水の取組」をされていることを説明したビデオを視聴しました。そこで、「治水の取組が、侵食、運搬など、『流水の働き』を理解した上でなされている」ことを知った児童は、理科の「流水の働き」で、水の量が変わると働きも変わることを実験により理解しました。



総合：プレゼン発表

総合：プレゼン発表準備



国交省の方 来校



「川底を掘ると  
氾濫しません」

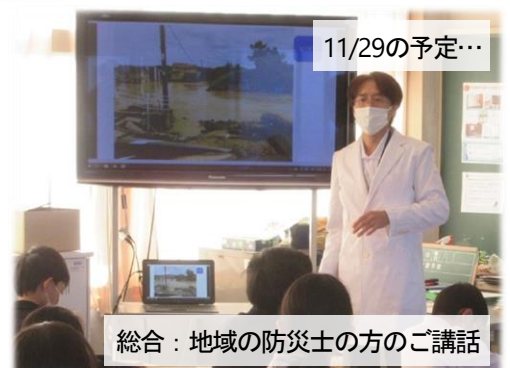


国交省の方々も興味津々



子どもの頃は、  
理科が好きでした

ここで終わってしまうと、「理科の有用性に気付かせることは困難」と考えた指導者は、「理科で学んだ知識を生活の中で活用させたい」と、国土交通省の方を招き、治水の取組を「流水の働き」を根拠として「説明返し」を行う「総合」の活動を設定しました。児童は、そのプレゼンに向け、クラスの班で四つの取組を分担し、氾濫する様子はビデオ録画で、治水の取組はモデル実演で発表を計画しました。11月15日（火）の本番では、児童は実に頼もしい姿で発表し、理科の有用性を実感…したようでした。国交省の一人からは、最後に、ご自身の経歴のお話までいただき、「キャリア教育」の観点からも価値ある一日となりました。



11/29の予定…

総合：地域の防災士の方のご講話